

(株) えふえむ草津 第56回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和元年9月19日(木) 18時30分～19時30分

2. 開催場所 木波屋雑穀堂

3. 委員の出欠 委員総数 6名 出席委員 3名

(出席委員) 辻 信一 松田泰子 森 健蔵

(欠席委員) 岩佐卓實 岡本直輝 奥谷美津子

(放送事業者側出席者) 青木 均(代表取締役)
山本正雄(事務局)

4. 議 題

(1) 近況報告

(2) 教養番組「俳句 5・7・G Oー!の時間」について
毎月第3金曜日 語り手:石倉 政苑さん
聞き手:森 登世美さん

(3) 前回審議会における改善意見等に対する措置事項

(4) 訂正または取消し放送の実施状況

(5) その他

5. 議事の概要



(1) 近況報告

(放送事業者)

新番組「俳句5・7・GO!!の時間」や「意外と知らない草津の歴史」、「Rineige Radio」、「教えて消防士さん」のコーナーについては順調に収録し放送している。また、市内の事業やイベントの収録について特別番組的に放送している。その主なものは、「ワクワクこどもの広場 2019」「土からこだわった野菜の料理バトル」、「劇団四季公演記念・新庄真一氏インタビュー」、「陶芸家・神山清子氏インタビュー」、「クリアホール・ロビーコンサート」等。

また、9月8日にイオンモール草津で開催された「BIWART COLLECTION」を企画制作するとともに、「みんなでつくろうコミュニティFM」と題した公開ラジオ収録等を行った。

更に、同日の午後9時から、GINLALA（山崎ぎんさんと菅野ららさん）が担当して、特別放送「市議会議員選挙開票速報」を深夜0時30分まで放送。

9月14日には、夢本陣を会場に開催されたイベント「てくてくゆめほんじん」との連携事業として、特別ラジオ生放送を午前10時から午後3時まで行った。

その他、学生インターン生など若い皆様のご協力により、放送番組審議会の報告ナレーションの吹き込み、劇団四季のインタビューの実施、モーニングロケッツ785への光泉高校放送部員11名の出演なども行った。

8月23日には、来月から放送を開始する草津市コミュニティ事業団のまちづくり情報番組「くさつ☆コミュニTea Time!!」の放送番組活用のご案内をまちづくりセンター運営協議会の会合で行い、現在、具体的な収録の打ち合わせを行っている。

9月10日には、今年度下半期用の番組表を印刷し配布を開始。下半期号では、小さな顔写真を入れたパーソナリティの紹介を行うとともに、番組紹介も少し詳しく載せることで、次年度以降におけるスポンサーや広告の獲得に活かせていければと考えている。

毎月17日に行っている緊急割込み試験放送試験を8月19日と9月は17日に実施。

老朽化している機器の更新や放送環境の整備として、事務所内のサイマル放送用パソコンの撤去（サイマル放送用新規パソコンは市役所設置の送信機器に直接接続）とオンエアモニタースピーカーの設置、Bスタジオのコンプレッサーの交換を行った。

今後も、公共公益放送の充実を目指した取り組みや一般の娯楽番組の拡大に努めていきたい。

(2) 教養番組「俳句 5・7・G Oー!の時間」について

12分程度に編集した番組を聞いた上で審議に入った。

(A 委員)

草津市にとって、俳句は特別。俳諧の祖で常盤村（現草津市志那町）で生まれた山崎宗鑑や、その句碑がある蓮海寺の話題なども出した方がよい。

(B 委員)

番組の流れとして、前説やそういった背景を説明することが大切。

(A 委員)

山崎宗鑑は、伝統的な和歌などから改革して、素人でも誰でもができる俳句の面白さや楽しさを広めた。

難しい事から入るのではなく、気軽に親しめる内容にしてはどうか。

(放送事業者)

第一回目には、番組の冒頭で説明したが、俳句の番組をつくっている背景が分かるようにしたい。

また、「俳句のまち草津」の特色を出して、山崎宗鑑の句や宗鑑ゆかりの地である姉妹都市の観音寺の紹介を検討する。

更に、遊び心も入れていきたい。

(C 委員)

番組のターゲットはどの世代を対象にしているのか？

テレビ番組の「プレバト俳句」では、若い人が句を詠んで夏井先生が添削していることもあって、学生の中で俳句への意識が高まっている。

この番組でも、若い人が聞き手となることも検討してはどうか？

(放送事業者)

現在、本放送と再放送を2回行い、オンデマンドでも配信しているが、今後は放送時間帯の設定も含めてターゲット設定を考えていきたい。

(B 委員)

音楽のチョイスはどうか？

(C 委員)

私は、良いと感じたが・・・。

(B 委員)

若い人をターゲットにするなら、ちょっと違うかも知れない。

ラジオは映像が無いので、俳句の詠み方についても声の表情出すといった工夫も必要。

俳句の詠み手を司会とは別の人が行っても良いのではないか。

(放送事業者)

テレビ番組では画像も使って分かりやすく句を詠んで放送しているが、ラジオではできない。

解説についても、もう少し内容に踏み込んだ詳しい説明があればありがたい。

教養番組なのか、娯楽番組なのか、どちらなのか・・・。

若いパーソナリティなどが入っても面白いかも知れない。

(B 委員)

今の感じだと教養番組。

娯楽の方に持っていくのなら、音楽や句の詠み方を工夫していけば良い。

(放送事業者)

今後、教育娯楽番組になるよう検討していきたい。

(3) 前回審議会における改善意見等に対する措置事項

別紙のとおり

(4) 訂正または取消し放送の実施状況

特になし

(5) その他

次回の予定は、11月12日（火）18時30分から、草津市立まちづくりセンターで実施する。

審査対象番組は、HappyBOUSA とし、防災に関するテーマで議論する。

【議事録の公表方法】

- ①当社玄関カウンターに設置（10月4日～）
- ②当社ホームページへの掲載（10月4日～）
- ③番組「草津レポート」（10月11日12時～）の中で番組審議会の内容を放送

前回開催の番組審議会での改善意見、質問に対する措置事項

令和元年 7 月 12 日（金）午後 1 時から放送いたしました「『意外と知らない草津の歴史』について」の 1 時間番組を 15 分間に編集し直したものを聴取いただいた後、番組内容を審議していただきました。

番組内容を受けての質疑応答

(放送事業者)

この放送は、7 月からの新番組で初回の放送となるが、より聞きやすく分かりやすくなるように努めていきたい。

(A 委員)

番組出演されてる街道交流館については、教育的すぎるように思う。また、街道交流館の立場や役割、草津宿本陣との連携強化等について、観光という観点でお客さんに喜んでいただけるようにもっと工夫すべき。観光という点から、施設運営の在り方も含めて改善が必要であり、この放送についても、そうしたことの延長として楽しくて良い番組にしてほしい。

(放送事業者)

教育委員会が担当してきたことから、教育という観点での展示等が重視されてきたと思う。この番組に出演いただいている八杉館長は、そういった面の改善を進めてきた方なので、力を借りて楽しい番組にしていきたい。

(B 委員)

八杉館長は、展示をどのようにすれば興味を持っていただけるのかを色々と工夫し、また自身のネットワークを使って積極的に取り組んでおられるので、我々自身もそれを学んでいく必要がある。

(放送事業者)

遺跡の発掘を担当される技師の方は、学術的なことに傾注される傾向があるが、八杉館長はそれをどう活かすのかを考えて来られた方。この番組を通じて、職員の育成と共に市民の方々に関心を持っていただけるよう、ご尽力いただきたいと思っている。

(F 委員)

草津市は宣伝が下手なのかも知れない。例えば、草津川跡地公園の利用者は目に見えるように増えているが、これらの人たちが草津宿本陣や立木神社などへ行こうという気持ちになってくれるような工夫が無い。

(D委員)

「急がば回れ」（「武士の やばせの船は はやくとも いそがば廻れ せたのながはし」）は、草津市の矢橋のことであり、天井川のトンネル「マンポ」も興味深い。また、かつて草津市にあった競馬場も含めて、話題をリスナーからも集めて掘り下げ、データを蓄積して多くの人に知っていただけるような番組にしてはどうか。

(A委員)

各学区で「記憶絵」を作成しているが、こうしたものを活用すればリスナーにも興味を持ってもらえるのではないか。

(E委員)

初回の番組だったのでリスナーに興味を持っていただける内容までにはなっていないが、こうした意見を参考に、「へえ～そうだったのか」と思っていたいただけるような良い番組にしていてもらいたい。

(G委員)

草津市は他市からの転入者が多いが、行政として一番知っていただきたい草津の時代や歴史を議論し見定めておいた方が良いのではないか。

(A委員)

観光ボランティアガイド協会では、江戸時代以前に興味を持っていただけるものだと考えてきたが、草津市に住んでいただいている方がリスナーであることから 30年～50年前の草津市の様子を伝えるのも大切かもしれない。

(放送事業者)

草津市は歴史ある建築物の保存が進まず、すべて取り壊して開発を進めてきたので、少し前の時代の事も含めて、伝えていく必要があるだろう。

(A委員)

江戸時代以降、街道沿いの建物の多くが無くなり、現存しているのは太田酒造と草津宿本陣くらいしか残っていない。和宮様や將軍様が草津においでになった時の様子と比べると、街道に面しているところの変化がものすごく激しい。

(F委員)

物を仕入れて商いをしている所は殆ど残っていないが、提灯など自分で作っている所は少し残っている。

(D委員)

そうした話が「へえ～なるほど」ということになる。聴いて人に教えて自慢したくなるような話を入れると良い。

(G委員)

万葉集の中で矢橋のことを歌った恋の歌がある。

(A委員)

万葉集で言えば、巻一の50番の歌も、草津に関連している。

(放送事業者)

立命館大学BKCにある「木瓜原（ぼけわら）遺跡」についても、そこで製鉄されたものをどのように運搬したのかということも含めて、大変興味深い話だ。

(G委員)

高島から鉄鉱石は運ばれて、牛で木瓜原まで引っ張って来て、古道を通過して奈良まで運ばれたと考えられている。もし大津京が無くなっていなければ、今の奈良の大仏様がこの地に建造されていたかも知れない。

(A委員)

夢本陣でマンホールカードを配布しているが、渡す時には必ず草津とのつながりを持っていただけるように工夫している。例えば、関東の人には江戸城を築城したことで有名な太田道灌、奈良の人なら「常善寺」の話を見せていただいている。というのも、東大寺創建に尽力し「東大寺初代別当」となった良弁僧正が、東大寺の前に創建したお寺であり、興味を持っていただけるのではないかと考えている。

(G委員)

古文書を解読している教員がいるが、このエリアの農民の識字率は非常に高く計算にたけていたようだ。豊作の時には自分たちで年貢を計算して申告し、不作になれば何年か前に多く収めたので減額するよう自分たちで調整していた。

(A委員)

それは、渡来人の影響だろうと思われる。

(G委員)

こうした内容の話は立命館大学の講座で毎年行っている。

(放送事業者)

是非、そのような講座も番組で活用させていただきたい。

その他の質疑応答

(A委員)

土、日曜日にスタジオを開けて放送する予定はあるか。

(放送事業者)

土、日曜日にスタジオを開ける予定はないが、今後は地域のイベントや事業を収録した番組などを放送していきたい。

(A委員)

観光客のことを考慮すると、土、日曜日にもスタジオを開けるべきではないか。FM局側が、土、日曜日にスタジオを開けて放送するというスタンスをとった際に、不足するのは予算だと思うが、それをどのように克服するかを考えていくべき。

(放送事業者)

現状の資金や体制ではスタジオを開けることはできないが、スタジオ前のイベント広場の活用については、草津市の観光労政課や、草津まちづくり会社、観光ボランティアガイド協会と連携しながら検討していきたい。また、土、日曜日には草津の歴史や観光に関する番組を放送し、それを観光客の方に聞いていただきたいと考えている。

(A委員)

9月14日に開催予定の「てくてく ゆめほんじん(夢本陣の観月祭)」を契機に、今後もそのような取り組みを積極的に重ねていただきたい。

(放送事業者)

以前のように草津市から予算をいただけるのであれば、イベント広場を活用した事業を開催できるようになるだろう。

(B委員)

新しい番組表は、何処に配布しているのか。

(放送事業者)

今回、2500部を印刷して、協賛いただいている事業所に20～30部ずつ配布。また、ショッピングモールや草津駅構内の観光案内所のラックなどにも置かせていただいている。

(C委員)

番組表が見やすくなった。これに関して何か反響はあったか。

(放送事業者)

問い合わせはいくつかにいただいている。番組が充実してきているので、これを契機にスポンサーを獲得していきたい。

(E委員)

番組のタイトルだけでなく、内容まで確認できるようになり良くなった。タイトル自体もよく考えられている。

(F委員)

番組「声の広報」をいつも聴いているが、内容も良いし聴きやすい。

(放送事業者)

ホームページには音源と共に、該当する広報くさつの紙面を載せているので、とても見やすくなっていると思う。

(D委員)

番組表にQRコードを載せれば、スマートフォンからオンデマンドに飛べて便利ではないか。

(放送事業者)

次回印刷する際に、QRコードを載せる予定で準備をしている。デザインは自前で行い、ネット印刷で安く発注している。デザインをしてくれている社員はシナリオライターもしてくれているので大変助かっている。番組表については、今後紙面を増やしてより充実した内容にしていきたい。